

磐城時報

福島縣石城郡平町新田十四
印刷所 加納活版所
電話 八四
印刷 加納活版所
電話 八四
發行所 磐城時報社
電話 八四
郵政掛號 第一四四號
電話 八四
廣告料 一行四角 一月十元 三月三十元 半年六十元 一年一百元
印刷物は 加納活版所

小名濱問題 最後の町民大會

百二十余名の赤禪隊を組織し けふ運動に上京

濱口内閣によつて中止された小名濱問題は本縣の重大問題であり地元小名濱町に取つてはまつたく死活問題であるので町では再度町民大會を開いて促進の運動をなして来たが更に二十日午後七時から最後の町民大會を同町公會堂に開催青年團員、町會委員有志など百二十余名を一團として赤地に白く小名濱商港促進隊と染め抜いた赤禪隊を組織し明治神宮に参拜の上實現についての猛運動を起すといふ悲壯極まる決議をなして今二十二日百二十余名は上京することとなつたが成行については極めて重大視されてゐる。

富士登山隊出發

町白銀町花澤輝一氏の竹馬富士登山の應援團は二十三日午前六時五十分平驛發の豫定であつたが繰上げて午前五時十五分出發に變更した。

白土會例會

喜多流藩石城郡白土會の素談會は二十一日午後三時三十分小名濱公會堂に開催されたが四倉町警署セメント會館に開催するが科目は風景、杜若、蟬丸、融、鬼界島(上)人物、石齋、靜物その他講師野八郎、白土喜伯、佐藤芳松、は磐城教諭酒井英記警署中近藤藤(鈴木芳松) 仕舞湯谷(白土喜伯) 廣記の二氏で會費金一圓二十錢笠之段(上野八郎)であつた。

圖書講習會

石城郡白土會の素談會は二十一日午後三時三十分小名濱公會堂に開催されたが四倉町警署セメント會館に開催するが科目は風景、杜若、蟬丸、融、鬼界島(上)人物、石齋、靜物その他講師野八郎、白土喜伯、佐藤芳松、は磐城教諭酒井英記警署中近藤藤(鈴木芳松) 仕舞湯谷(白土喜伯) 廣記の二氏で會費金一圓二十錢笠之段(上野八郎)であつた。

放送局の無料診療で ラヂオ商怒る

日東商會を指定したのは 營業の妨害である

仙臺放送局では石城地方のラヂオ難しであるが更に場合によつてオファンのために平町白銀町はわれわれ、結束の上東北六縣ラヂオ商會内に特にラヂオ診療會を組織し、ラヂオ商會の態度を療所を開設する二十日より放送局に訴へ當局の態度を局相談部相川技手外一名が出張で成行は頗る注目されてゐる。二日間の豫定で一般のラヂオ無向は右について日東商會の店員料診療を行つたところが石城地は放送局から平郵便局に通知ありて明五年から實施すべく測量方におけるラヂオ商會はH.K.と連り平局から更に自分の店に通知費に充當するため金二千圓を國給を保つて居りわれわれ、一言あつたものと思ふが主人が留守庫に寄附することとなり過般内の話もなくしかも同業の日東商會でくはしい事は知らぬと語つて務、農林兩省に對し寄附採納方會に會場を指定したなきいふるた、又某ラヂオ商はわれわれ、申請中であつたが小柳新知事がことばわれわれ、を侮辱したものの商賣は極新らしいだけに顧客着任したので何分援助して貰ひであり極言に言へばわれわれ、の吸集につきて苦心してゐるのたいと四倉町長新妻盛氏外数名營業を妨害したものであるとののである、然るに放送局が同業者の代表者は若松縣議の案内で出意見を吐いて放送局を極度に非の店にこうした催しをすること

四倉港修築 測量費寄附

縣へ援助方陳情

四倉漁港修築問題は地元四倉町で明五年から實施すべく測量費に充當するため金二千圓を國給を保つて居りわれわれ、一言あつたものと思ふが主人が留守庫に寄附することとなり過般内の話もなくしかも同業の日東商會でくはしい事は知らぬと語つて務、農林兩省に對し寄附採納方會に會場を指定したなきいふるた、又某ラヂオ商はわれわれ、申請中であつたが小柳新知事がことばわれわれ、を侮辱したものの商賣は極新らしいだけに顧客着任したので何分援助して貰ひであり極言に言へばわれわれ、の吸集につきて苦心してゐるのたいと四倉町長新妻盛氏外数名營業を妨害したものであるとののである、然るに放送局が同業者の代表者は若松縣議の案内で出意見を吐いて放送局を極度に非の店にこうした催しをすること

はある意味においてわれわれ、の信用問題にも拘はるので今後放送局の態度はわれわれ、として飽くまで徹底的に糾弾すると語つてゐた。

サバナマリに御用心 中毒して死亡

磐城村大字上湯長谷磐城炭礦小 會大山技師である。

磐城村大字上湯長谷磐城炭礦小會大山技師である。野田坑竹内定吉内縁の妻渡邊セキ(二四)は十九日サバナマリ三本編を十四錢で買ひ夕食に食つた處翌二十日午前四時頃から激烈な腹痛を覺え手當したが午後二時五十分死亡した。

徵税の出来ぬ 欠損會社の多 い平税管内

平税務署では管内九十余の會社に對し目下上半期の決算書により所得税に營業收益税の賦課を行つて居るが今日までに決算を終へたものは十四件その内課税されたものは僅に六件金額四百五十圓で残る八件は悉く欠損會社で更に決算報告書提出未済分の七十七件中の大半は何れも欠損會社のみで徵税の見込なく石城地方の不景氣の状態が窺はれると共に法人會社の納税に對する附加税を以て大に助かつて居つた平町始めの郡内各町村の財政にすくなからぬ影響を與へることが判るとなは會社中比較的利益のあるのは電力關係會社の金融關係會社は何れも芳ばしくない成績である。

桃立毛品評會

石城郡農會主催平窪村桃立毛品評會は二十三日行ふが審査員は同

販賣組合總代會

石城郡販賣利用組合總代會は今廿二日午前十時から四倉商市場に於て開催定款變更の件其他を付議する。

石城地方夏蠶 飼育指導講習會

石城郡内における夏蠶狀況は目下二眠中で秋蠶は來月三日頃から掃立を開始するが夏蠶目下の成績は良好で石城養蠶同業組合では更に好結果を期するため今二十一日から二十六日まで六日

着衣のまま飛込んで 少女二名を救ふ

石城郡高久村字下高久鈴木林之定無職高橋義男(十七)は東京府助(五四)が所用あり去る十六日下日暮里町字金杉町自轉車商細午後四時ころ同村滑津川附近を谷ッ方から現金十五圓を窃取通行中同村鈴木(五)矢吹石城郡に入り込み十九日神谷(一〇)の兩名が水深十二尺村字鎌田平上木監督所菜花勝之の箇所にて浮き沈みつゝ溺つてゐる助所有自轉車一臺價格八十圓をのを發見直ちに着衣のまま飛入り助け取引却せんとしてゐる處をび込み兩名を救助したが平署で平署に捕はれた。

落警で壓死

磐城村磐城炭礦長倉坑齋藤松吉(四九)は二十一日午前八時半頃新斜坑内で作業中落警のため死亡した。宮城縣原郡齋藤村當時住所不詳

北海道・樺太方面 徒步旅行の途上から

(第九信) 北海道にて 松田正一

平で捕はる

宮城縣原郡齋藤村當時住所不詳

自轉車泥

宮城縣原郡齋藤村當時住所不詳

原町通信

愛宕神社昇格 大藪村大字北原に鎮座せる愛宕神社は指定村社に昇格せり。

石城地方夏蠶 飼育指導講習會 各所に開く

石城郡内における夏蠶狀況は目下二眠中で秋蠶は來月三日頃から掃立を開始するが夏蠶目下の成績は良好で石城養蠶同業組合では更に好結果を期するため今二十一日から二十六日まで六日

着衣のまま飛込んで 少女二名を救ふ

石城郡高久村字下高久鈴木林之定無職高橋義男(十七)は東京府助(五四)が所用あり去る十六日下日暮里町字金杉町自轉車商細午後四時ころ同村滑津川附近を谷ッ方から現金十五圓を窃取通行中同村鈴木(五)矢吹石城郡に入り込み十九日神谷(一〇)の兩名が水深十二尺村字鎌田平上木監督所菜花勝之の箇所にて浮き沈みつゝ溺つてゐる助所有自轉車一臺價格八十圓をのを發見直ちに着衣のまま飛入り助け取引却せんとしてゐる處をび込み兩名を救助したが平署で平署に捕はれた。

落警で壓死

磐城村磐城炭礦長倉坑齋藤松吉(四九)は二十一日午前八時半頃新斜坑内で作業中落警のため死亡した。宮城縣原郡齋藤村當時住所不詳

自轉車泥

宮城縣原郡齋藤村當時住所不詳

原町通信

愛宕神社昇格 大藪村大字北原に鎮座せる愛宕神社は指定村社に昇格せり。

間左の如き日割で郡内各町村において夏秋蠶指導の講演會を開く、講師は同會技師並に久の養蠶業取締所員である。

▲二十一日大野村▲二十二日山田村▲二十三日入遠野村▲二十四日江名、磐城、永戸▲二十五日鹿島、好間、神谷▲二十六日赤井

印刷物は 加納活版所

